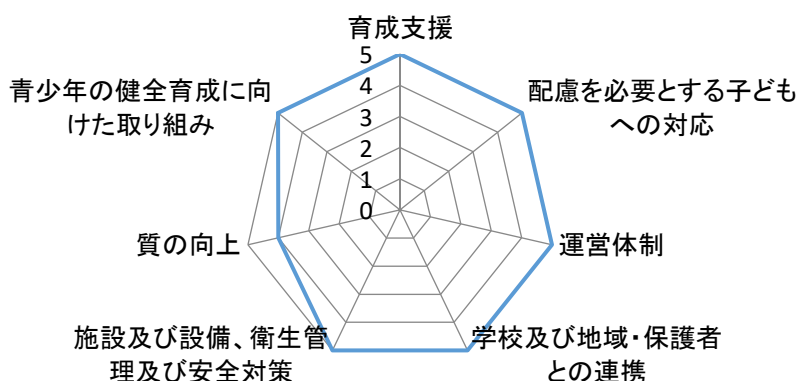




<クラブ評価>

No	項目	内容
1	育成支援	高学年の居場所作りに努めていきたい。
2	配慮を要する子どもへの対応	専任支援員を配置し、児童の適性に応じた対応に心がけている。関係機関と連携し、研修会へ参加するなど受け入れに努めている。
3	運営体制	関係機関に指導して頂き運営に努めている。
4	学校及び地域・保護者との連携	コロナ禍が少しずつおさまり、運営委員会・保護者会などの会議も開けるようになり、少しずつ連携を元に戻している。
5	施設及び設備・衛生管理及び安全対策	コロナウィルスが蔓延しないよう、消毒・感染症対策に配慮した。
	訓練実施回数	12回
6	質の向上	コロナ禍が少しずつおさまり、会場での研修会が増え、またコロナ禍で普及したオンライン研修の方と両方参加することで、積極的に研修会に参加していくことが出来た。
	1人当り研修参加回数	6.5回
7	青少年の健全育成に向けた取り組み	多くの行事や課外活動などを中止にせざるを得ない状況であったが、感染症対策に心がけ、課外活動も、屋内での活動も、少人数の班に分け、密にならないように心がけて、出来る限りの活動を行った。
	フローラルこまつ推進団体	○
	ボランティア活動実施回数	2回